

登米の力 とめのちから 登米の地から

魅力ある職場づくりセミナーを開催しました！

地方振興部

企業の人材定着を目的に、11月18日（水）に登米合同庁舎にて「魅力ある職場づくりセミナー」を開催しました。講師に社会保険労務士の須田氏、県内の先進企業である株式会社アステムの佐藤氏をお招きし、市内企業の経営者向けに働き方改革の現状や離職防止に関する取組事例などを紹介していただきました。

参加者からは「就業制度の取組や各種認定制度を知ることができ、自社でも取り組んでみたい」といった感想をいただきました。



研修の様子

宮城オルレ「登米コース」ガイド育成研修会を開催しました！

地方振興部

11月26日（木）に、先駆的にオルレ運営に取り組んでいる「気仙沼・唐桑コース」において、宮城オルレ「登米コース」ガイド育成研修会を開催しました。

前半は、唐桑町観光協会 事務局長の千葉氏からオルレコースと地域住民の関わり等について講演をしていただきました。後半は現地講義として「気仙沼・唐桑コース」の一部を、ガイドの会の

熊谷氏と実際に歩きました。熊谷氏によると「ガイドをする上で最も気を付けていることは“安全管理”であり、説明ポイントはお客様の好みによって調整しながら進めている」とのことでした。

参加者は、地域における協力体制の築き方やガイドの運営方法などについて、熱心に学んでいました。



唐桑半島ビジターセンターでの講義の様子



現地講義の様子

「登米農業マイスター制度」による新規就農者支援！

農業振興部

登米市では毎年30人前後が新規就農しています。親元に就農する方もいますが、自身で新しく経営を始める独立就農者については、技術力・経営力向上の支援が重要となります。

そこで、登米農業改良普及センターでは平成28年から「登米農業マイスター制度」を開始しました。当制度は新規就農者に対し、関係機関（登米市・農業委員会・JAみやぎ登米・普及センター）が認定した篤農家（マイスター）を派遣して個別

技術指導を行うもので、早期経営安定を目的としています。

これまで、「きゅうり部門」4人、「露地野菜部門」5人、「りんご部門」1人、「繁殖牛部門」1人の計11人の新規就農者を支援してきました。

今後も普及センターでは、関係機関と連携した新規就農者支援を実施していきます。



マイスターによる繁殖牛の個別技術指導



マイスターによるりんごの個別技術指導

食べて応援～学校給食で登米市産黒毛和牛が提供～

東部家畜保健衛生所

新型コロナウイルス感染症の影響により昨年2月頃から牛の枝肉価格や子牛の市場価格が低下し生産者に大きな打撃となっています。その対策の一環として、登米市内の小中学校や幼稚園では、県産牛肉学校給食提供支援事業を活用し、昨年10月から月1度程度給食にビーフシチューやミニス

テーキ等で登米市産の黒毛和牛が提供されています。

市や農協などで構成する登米市和牛振興協議会では、例年登米市産仙台牛を給食に提供していましたが、今年は2月まで登米市内の5つの学校給食センターごとに計5回提供される予定です。



提供されたビーフシチュー



登米市内中学校での給食の様子

「特定家畜伝染病の発生時における埋却演習」を実施しました！

農業農村整備部

令和2年11月11日に、宮城県建設業協会登米支部と登米地域事務所主催による「特定家畜伝染病の発生時における埋却演習」を開催しました。

この演習は、豚熱等の特定家畜伝染病の発生時に円滑な埋却作業を行う目的で、平成29年度から開催しており、今年で4回目となります。

埋却演習は、登米市東和町の（株）日進運輸建設様の社用地を会場として行われ、県建設業協会登米支部の会員20社のほか石巻支部及び気仙沼支

部の会員18社、県及び市、JA、県畜産協会の職員など約130名が参加しました。

当日は、防護服の着衣演習や埋却準備、殺処分した家畜の吊り込み、埋戻の演習を行い、実際の埋却作業を想定した一連の流れを確認しました。

県登米地域事務所では、万が一、特定家畜伝染病が発生した場合は、埋却作業が円滑に進むよう、県建設業協会登米支部をはじめ各関係機関と協力して対応してまいります。



県登米地域事務所吉田所長より あいさつ



埋却演習（埋却準備：石灰散布1回目）

＜東部地方振興事務所 登米地域事務所からのお知らせ＞

東部地方振興事務所 登米地域事務所では、11月から公式InstagramとTwitter「ほっとめーしょん」をスタートしました！

登米ならではの景色や食べ物、季節のおすすめスポットなど、登米地域の様々な魅力情報を職員目線で発信しています。

「#ほっとめーしょん」にたくさんの情報が集まるよう、ぜひ皆さんもSNSで登米の魅力情報を発信する際は、「#ほっとめーしょん」を付けて投稿してください！



Instagram



Twitter

宮城県東部地方振興事務所 登米地域事務所
公式 Instagram & Twitter

「ほっとめーしょん」 スタート！

登米地域の様々な魅力(景色、食べ物、おすすめスポット等)に関する情報を発信します◎
登米地域のほっとな話題は、
#ほっとめーしょんをつけて下さいね！

詳しいお問合せは
宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所
地方振興部 TEL. 0220-22-6123

登米地域（社会資本整備）事業検討ワーキングについて

東部土木事務所登米地域事務所

宮城県土木部では、震災復興期のあとの社会資本整備計画について令和3年度から実施する県全体の総合計画に基づき、分野別計画として「新土木建築行政推進計画」を策定中です。

登米地域では平成30年度から土木事務所・地方振興事務所・登米市の職員で「登米地域事業検討ワーキング」を立ち上げ、地域の社会資本整備の方針を検討しているところです。今年度も引き続き検討を進め、これを踏まえて登米地域における計画策定の参考にしたいと考えています。

●会議の枠組み

- ・登米地域（社会資本整備）事業検討ワーキング（メンバー）
 - 県東部土木登米地域事務所
 - 県東部地方振興登米地域事務所
 - 登米市（全体で13名）

次代を担う
若手の方々
です

〈ワーキングの様子〉



●意見交換の内容（過年度分も含む）

- 地域の課題の抽出
- 課題解決に向けた取組の検討
- 基本方針（案）の検討
- 基本方針（案）の修正・追加【R2】
- 具体的な整備事業や取組の検討【R2】

●ワーキングでの意見について

登米地域は1世帯あたりの自動車保有台数が最も多く、また道路1kmあたりの事故件数も多いこともあり、さらに新型コロナ禍の今、自家用車は欠かせないものとなっており、参加者からは道路整備に関する意見が多く出ています。

また、登米地域の特徴として東部に山間部はあるものの、低平地が多く近年の局地的大雨で各所の被害が拡大傾向にあることから、河川整備や内水対策を進めることも必要ではないか、との意見もあります。その他、雇用機会や産業育成、少子高齢化など他の地域と同様な問題があります。

このワーキングで職員同士が横のつながりを持ち、登米地域がよりよい方向へ向かうことを意識しながら、それぞれが業務にあたっていくことを期待しています。

令和3年1月発行/宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所（地方振興部）
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字西佐沼150-5
TEL：0220-22-6123 FAX：0220-22-7522